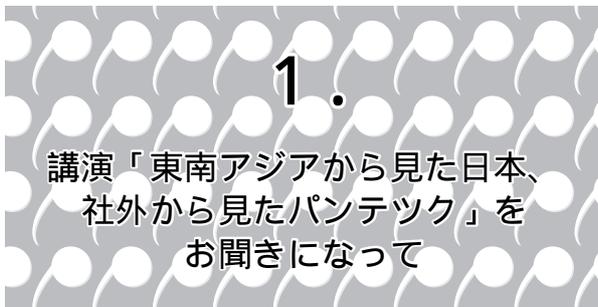
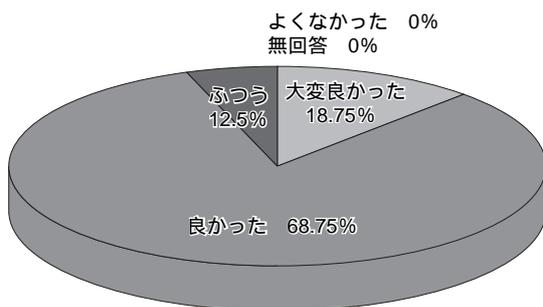


アンケートのまとめ



講演を聴いてどのように感じましたか。



講演に対する感想を聞かせてください。

- 外国で長く生活していた人の話を聞く機会は滅多にないので、そういう機会に出会うことができてよかったと感じています。東南アジア諸国の一部の方からは今でも第2次世界大戦時の日本の責任をとられることがあるのを聞き、今後真の国際交流を進めていく上で何を知っておかねばならないかという問題意識を持つことができるようになりました。
- 今後のASEAN産業経済の協力を促進する対話の場を持つ目的でできたAMEICCであるが、さらにAPECやAMEICCを活用して、アジア地域の市場障壁の低減を図り、ASEAN

地域の一体化を目指すべきである。そのためには“日本への期待”(人・物・金・情報)を実現してゆかなければならない。

- 普段なじみのない政治・経済の話をしていただいて大変“ため”になった。東南アジアから見た日本の印象が未だにあまり良くないと言うのは少しショックでした。海外での仕事はなかなかうまくいかないという話は他の先輩からも聞いていました。リスクも吸収できる良い案件は簡単にはないとはおもいますが、経済のグローバル化の流れに乗り遅れないように当社も海外進出をもっとしたほうが良いとは思いますが。
- 私自身海外へ出たことがないので海外生活の体験談を聞くことができ良かったです。東南アジアからみて日本がどのように見られているのかということは、講演を聴いてよくわかりました。しかし、講演のタイトルにもある「社外から見たパンテック」と言う内容の話があまりなかったのが残念です。
- 「東南アジアから見た日本、社外から見たパンテック」という題名にそった話はあまりなかったように感じました。
 - ・ 経験談が非常に興味深く、勉強になりました。
 - ・ 自分にはもっと苦勞することが必要だと思いました。
- 大変申し訳ありませんが評価をふつうとさせていただきます。理由としてひとつは難しかったということです。しかし、講師が東南アジア各国をまわられて貴重な体験をされたのは理解できましたし、現地でのエピソードなど大変興味深いお話もありました。ASEANの説明など手元にレジメがあれば理解しやすかったと思います。

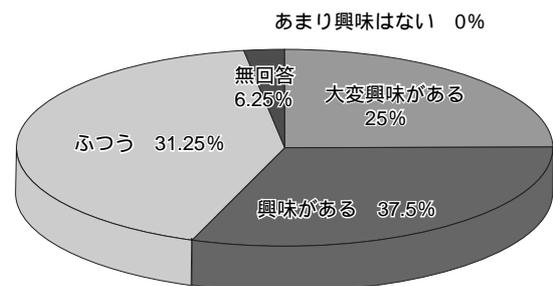
- 「東南アジアから見た日本、社外から見たパンテック」の講演を聴いて大変勉強になったと思います。いくつかよくわからないところもありましたがまた機会があればこのような講演を聞きたいと思います。
- 講師が一貫して述べられていたことは講演の題目のとおり「東南アジアから見た日本」と「日本から見た東南アジア」は視点が全く異なるということであったと思う。私は学生時代にアジアの方々と交流する機会が多かったのですが講師の言うとおり仲が良くなるにつれて過去の歴史に対する感想を話すことが多くなったように記憶しています。そのたびに自国の歴史に対する認識の甘さ・薄さが露呈され、やはり日本の中には気づかない「海外の視点に立った日本」を学習していく必要性を感じていました。
- ASEANに関するご説明を受けましたが具体的なイメージが湧かなかった部分もありました。どちらかという講師の海外体験をもっと聞きたかったです。あと、表題にあった「社外から見たパンテック」にはふれられてなかったように思うのですが。
- 東南アジアの人々の日本に対する意識について第2次世界大戦のイメージが残っていてあまり良い印象でないというのが心に残りました。
- アジアの国々の中で日本がどのような存在としてとらえられているかという話題は常にマスコミでもよく取り上げられていますが、実際に現地の状況を肌で感じていらした方はやはり説得力がありました。また、公私両面で大きな転機をむかえられた当時のエピソードもとても参考になりました。
- 先輩社員の経験談だけに勉強になった。いろいろな問題に立ち向かう講師のお話はこれからの自分にも重なりうることでありそのときの参考にしたい。海外情勢についてもう少し知識を持たねばと感じた。
- ASEANの駐在大使ということでタイに赴任

が決まった先輩のお話ということで非常に興味深く聴かせていただきました。中でも一番印象に残っているのは、東南アジア各国の日本に対する目は厳しいということでした。欧米諸国も歴史を考えると植民地支配をしてきた中で厳しい見方をされていないということから外交の違いを考えASEANとの結びつきを強くしていかなければならないと感じた。

- 社外に出られて業務とは異なる場で、仕事をされてきた体験談や東南アジアの人々から見た日本の印象について大変興味深く聴かせていただきました。私自身も東南アジア諸国との関わりということについて頭の隅に置いておきたいと思いました。
- これからの日本、そしてパンテックがどういう風に進んでいかなければならないかなどがよくわかり良かったです。
- パンテックの存在の大きさを感じました。

2. パンテックユニオンが行っているモンゴルとの交流についてお聞かせください

モンゴルとの交流についてどのように感じましたか。



モンゴルとの交流に対する感想を聞かせてください。

- ボランティアとしての役割は当然なのですがそれ以上の価値が交流ではないかと感じました。他の国の生活にふれることは自分を成長させてくれるだろうと思うので機会があればモンゴルへ行ってみたいと思います。
- 労働組合は日本最大のNPOだと思います。昨年、就職活動中に東南アジアに学校をつくる取り組みやバリアフリーのツアーの取り組みなど社会的な活動を労働組合として積極的に行っている企業があると聞きました。こうした取り組みには組合員の自発的な参加（ボランティア）が大変多いとのことでした。地域や社会全体に対する取り組みを積極的に行うことが組合活性化につながるのではないのでしょうか。
- マンホールチルドレンの存在はニュースやいろいろなテレビ番組で見て知っていました。特定の子を対象に直接支援する方法は成果がわかりやすいとても良い方法だと思います。しかし、マンホールチルドレンを無くすにはモンゴルの社会を変えなければいけないと思いました。多分、民間交流を続けて実績を積んでいくことで政治的な力を生む原動力になると思うしそうやってほしいと思います。
- パンテックユニオンという組織がどういった活動をしているのかわからなかったが今回話を聞いて少しわかりました。モンゴルとの交流に対してもとてもすばらしい活動をしていると思います。私もスライドを見て一度モンゴルに行ってみたいと思いました。今後もこのようなすばらしい活動については継続して行ってほしいと思います。
- 内容には非常に興味深く協力できることがあれば是非させていただきたいと強く感じました。しかし、なぜモンゴルに対してボランティア活動をしているのかが終始よくわかりませんでした。

- ・ 何を目的にしているのかを明確にしてもらいたいと思いました。
- ・ 最初にちらっとふれたように感じましたが活動の内容のインパクトが強すぎて印象に残りませんでした。
- ・ 播磨製作所の方々が積極的に参加していることに感動しました。
- パワーポイントで写真を一枚一枚みせていただき、笑いを含めたクイズ形式のスピーチはよかったですと思います。モンゴルへは今年学生時代の友人が海外青年協力隊としていっております。マンホールチルドレンの他国の事情については無知であったので良い勉強になったと思います。フリーマーケットで支援物資を現金にかえて現地で図書などを購入し、贈呈する方法は大変良いアイデアだと感じました。
- モンゴルとの交流については大変興味がありました。外国と交流を持つと言うことはとてもいいことだと思うのでまたいろいろな話を聞きたいと思います。
- 日本人が外国へ行き、その地元の方々の親切心や温かさを肌で感じることはとても重要なことだと思う。親切心・温かさは今の日本では外国に比べると欠如しており、そのことに我々は気がついていない。当然、外国から日本にこられている方は、そういった親切心が薄いと思われる。我々はこのような交流を経験することで日本に来る外国の方の気持ちを理解し、国際交流の上手な国になって世界を引っ張って行かなければならないと思う。
- 異文化と接することや異文化圏に住む人々と交流することは人間の幅を広めるという意味ですばらしいことだと思います。社員一人一人がもっとこの企画に興味を持って活動すれば盛り上がるんじゃないかと思いました。
- ただ単純にモンゴルとの交流に参加しているのではなく、「どのようにして多くのマンホールチルドレンを支援していくのか」、また、「社内から自ら支援物資を送る」など自発的

に考えながら参画していて大変良い活動だと感じました。

- 交流に参加された方達と現地の方達の笑顔の写真を見て、やはり、ボランティア活動というものは（打算的な意味合いではなく）良い結果として奉仕した側にも返ってくるのだなあ、と感じました。私は「困っている人々のために身を犠牲にしてがんばる」という考え方はおこがましいと思っています。「自分がやりたいからやる。その結果が人々の役に立てるなら本当にうれしい」という意識をもって自分のできることからボランティア活動に参加したいと思いました。
- 最初は何の目的でモンゴルとの交流をパンテックユニオンがやっているのかわからなかった。ボランティアというイメージより交流という感じで良い雰囲気でした。
- 環境問題を取り扱う当社においてこのように海外との交流を持つことは大変有意義なことであると感じました。世界のどのようなところでもどのような問題があるのかを肌で感じることで自分自身の視野を広めるといった観点でも非常に重要だと思いました。また、このようなことを通して当社は社会に貢献しているのだ、と実感しました。
- 社外的にもこのような援助活動をしていくということについては大変すばらしいことだと思いました。ただ、いろいろな立場の方がおられると思うので活動内容を伝えて多くの方の理解を得ていくというのは大変なことではないかと感じました。
- 行ってみたいとはあまり思わなかったけどもモンゴルとの交流でやっているボランティアなどはとても興味があり、いいことだと思うしすごいと思いました。
- 実際にモンゴルにも行って交流しているいろいろ支援物資などを知って、びっくりしました。自分も高校の時にいらぬグローブやユニフォームやスパイクを野球部全員で集めてモンゴルに送ったことがあったので

モンゴル人のつらさってというか日本ほど恵まれていないのがよく分かった。

3.

みなさん自身のことについて お聞かせください

入社して2ヶ月が過ぎましたが現在の率直な感想を聞かせてください。

- まだそんなに重要な仕事をしていないと思うのですが、少しずつ会社のシステムを理解してきていると思います。そして会社の年齢構成からくる弊害も見えてきたような気がします。少し動きが遅いような気がします。メーカーなので理系出身者の社員が多いのは仕方ないのですがもう少し営業部門に文系社員を配属してもいいと思います。
- 配属された頃には右も左もわからず、与えられた課題を全くこなすことができずに大変悩み苦しみました。仕事の流れがわかりだした今では、諸先輩方的確な指導もあり、与えられる課題を楽しくこなしています。
- 理系で採用されたのに業務がきわめて事務的な内容で正直戸惑っています。しかし、簡単な内容であればどんどん現場や業者さんへの連絡をしたり、実際のオーダーに係わる仕事であり練習ではなく本番なので、緊張しながらも充実した毎日を過ごしています。ただし、同期がどんどん現場に出ているのに私はなかなか行ける現場が少なくて当社の製品をほとんど知らない状態です。技術的に同期から遅れないか不安です。
- 最近になってやっと社会人であるという自覚が生まれてきました。私自身は自分の力が十分に発揮できる部に配属されたと思っていますので早く仕事に慣れ少しでも早く会社の戦

力になりたいと思っています。

- 会社の印象：実態をいろいろな方から聞くと「お先真っ暗」という印象をもってしまいます。

配属された部署の印象：みなさん家族のように仲が良くまとまっていると感じました。これぞ一丸という雰囲気です。イメージしていた雰囲気とは違い毎日が楽しいです。

- はじめの2週間はビジネスマナーを、残りの1ヶ月は配属先で研修を受けました。具体的な担当はまだ決まっておらず、各部署で研修を受けています。毎日、新しいことを学べることや、興味のある水処理に関係する仕事ができることなどいまは楽しいです。ただし、今の研修が終われば責任を持って仕事に取り組まなくてはならないことを忘れずにがんばっていきたいです。
- 入社してまだまだわからないことがたくさんあり、戸惑うことがありますが大い慣れてきたと思います。仕事を早くおぼえるようにこれからもがんばっていきたいと思います。
- 1 思ったより会社が厳しい状況におかれていて不安である。
2 先に聞いていた社会のドロドロした部分は感じない。
3 パンテックは思ったよりいい会社だと感じた。
- 本当に正直言うと、希望していなかった配属でかなりへこみました。自分としては目標があってこの会社に入ったので、どうしていいのかわからない部分が今でも少しあります。ただ、何もわからない自分に対して丁寧に教えてくださる先輩や今でも親身になって話を聞いてくださる人事部の方など、事業部内でも会社全体でも自分にとってためになる方がたくさんいらっしゃるのです。その人たちのお役に立ちたいと思っています。とりあえずは早く仕事をおぼえていきたいと思います。
- 仕事に関してはわからないことが多く少しずつおぼえていかなければならないと感じてい

ます。会社に関しては業績が厳しい中社内に程良い緊張感があって、「なんとかしなければ」というのが伝わってきて悪くない雰囲気だと思います。

- 自分の要領の悪さやふがいなさを改めて痛感しています。同じミスを繰り返してこれ以上周りの方たちの足を引っ張ることのないように、そして一日も早く自信を持って仕事をこなしていけるように良い意味での自己肯定感を忘れずに努力していきたいです。
- 客先での仕事には慣れ、知識もだいぶ増えた。実設備を間近で見ることができるととても勉強になる。本社にはあまり行っていないので、正直なところ自分のグループがどんなことをやっているのかあまりわかっていない。本社ではCADをいじっているだけであった。少し窓際族気分を味わった気がする。自分自身まだ学生気分が抜けていないと思われる。
- 正直いえば、2ヶ月という期間が大変短く感じました。学生の頃と違い時間という物が非常に貴重なのだと、この2ヶ月間でわかりました。しかし、一日一日が充実しているなど感じる事ができ、非常にうれしく思っています。
- いつの間にか過ぎていたというのが正直な印象です。
- まだ入社して2ヶ月しかたっていないので全部分かったわけじゃないけど少しずつどんな感じかつかめてきたので、これからもこの調子でがんばっていきたい。
- はじめはものすごく不安がありましたが、人間関係が素晴らしくいい人ばかりで楽しいです。

十年後の自分はどうありたいですか。

- 自分から動いて行って今の会社のしくみを変えられることができればいいと思います。そのためにもいろいろな知識を身につけて行きたいと思います。将来は経営者側に少しでも成り



たいです。

- 正直10年後なんて想像ができませんがとりあえずはお酒がおいしく飲める程度に健康で仕事は自分が納得行くまでこなすことができ、家庭が円満であれば…。とにかく、いい10年後にするために1日1日がんばっていきたいと思います。
- 自信をもって仕事ができる様になりたい。そのためには職場で関係者と積極的な議論ができるようにたくさんの実績を積んでおきたい。
- 今、10年後の自分はどうありたいですかと尋ねられてもまだ入社してから短期間なのではっきりとした目標などは思い浮かびません。とりあえず今は早く一人前の技術屋になることが目標です。そして、退職するまでには何か1つヒット商品を生産したいと思います。
- その部署の長になりたい。
- せっかく今の部署に配属されたので、水処理のプロに成りたいですね。やはり、私が考えたことが仕事の結果として残せるような人材に成長することが夢です。
- 10年後も楽しいこの職場で仕事をしてがんばってほしいなと思います。ばりばり仕事をしているサラリーマンに成ってほしいと思います。
- 語学力を身につける。第一に英語、そして世

界で一番人口の多い中国語を話せるようになる。そして海外で活躍する。

- 自分の目標として、気持ちだけはいつまでも若いままでいたいと思っています。どういう状況にあっても、常に自分の気持ちだけは捨てないように。それが10年後も続いていることを願います。
- 今の意識を忘れずに、かつ、自分の実力を伸ばし続けてゆければ、と思います。
- 仕事の成果をきっちり出せるようになってるのはもちろんですが既存の決まりごとを見直したり、新しい仕事の進め方を取り込んだりすることで私という人間がその場所で仕事をしている(していた)という”証”をきっちり残せるような社員になりたいです。
- 一部署にとどまらず転々といるんな仕事をして経験を増やしたい。
- 今はまだわからないことが多すぎるため指示されたことをただ実行するだけで精一杯です。しかし、自分自身の向上のためにもできるだけ早く仕事に慣れ、自分が行っている仕事の改善点を見つけることができるようになる、そして、問題点を解決できるようになるなど、スキルアップしていきたいと思います。そして、10年後には自分で企画や運営をできるようにになりたいです。
- 信頼を持って仕事をまかされる人間になること。
- どんなことでもいいので自分がやるべき事をちゃんとして、誰にでも尊敬されるような大きな人間になりたいと思っています。
- パンテックの一人として貴重な存在と思われたいです。

あなたにとって当社の良いところのばすべき所はどのような点ですか。

- 技術はよいものを持っていると思うので売上げをいかに伸ばすかが課題だと思います。2001年度のB/S、P/Lを見る限り、売上げさ

えよければ何も問題無いと思います。不況を理由にするのは簡単ですが現状を打破する力があると思います。

- 入社して2ヶ月余り、配属されてからは1ヶ月くらいですがどんどん仕事を任されている点です。研修などで本を読んでいるだけでは正直仕事をしたとは思えません。しかし、責任ある仕事をどんどん任されることによって”ヤリガイ”を感じることができます。
- 一度納めた製品は何年経っても責任を持ってケアする当社の姿勢はずっと貫いて行きたいです。
- 当社の伸ばすべき所はもっと商品のPR活動を積極的に行うべきだと思います。営業ばかりに任してはいけないと思います。我々技術屋もお客様が訪問されたときなどパンフレット、ビデオを用いてもっと商品のPRをしていくことが重要だと思います。
- 良いところは活気があることで伸ばすべきところは組織全体が一丸になることです。今は一丸とはいえないと思います。
- 入社して感じたことは自分の意見を述べる人が多い会社だということです。このことは簡単そうで難しいことであると思います。意見を交換し、ディベートをすることによって良い製品、良い会社ができると思います。自分の意見を述べる、意思を伝えることを全社員が行えば素晴らしい会社になると思います。
- 当社の良い所は職場がとても明るいということです。優しい方たちばかりなので毎日が楽しく仕事ができるところがいいと思います。
- 会社の雰囲気が良い。特に思いやりのある方が多い。
- クラブ活動です。この規模の会社で全国にスポーツで名前が知られているのはすごいことだと思います。社員のリフレッシュの場としても、是非もっとクラブ活動を盛り上げてほしいです。
- 技研においてさまざまな研究がなされているのでそれらを活かしていければ、と思います。

また、大きな会社と違って小回りのきく所を活かせれば、と思います。

- 業績の悪化や年齢構成のいびつさなど様々な不安要素を抱えていますが逆にそれらの存在が良い意味での危機感、緊張感のようなものを保たせているのではないかと思います。
- まだまだ始まったばかりですのでこれからみていきたいと思います。
- 自分のやりたいことの主張が一人一人できるという点です。そして会社側もその努力をしてくれるということを私の出身大学の大先輩に教えていただきました。会社と個人との関係が深いということは当社において非常に良い点であり今後も伸ばしていくべきであると思います。
- 技術を大切にすること。クリーンであること。
- 人間関係がとてもいいところだと思うのでそれはこれからも続いてほしいと思います。
- 人間関係がすばらしいと感じた。

4.

パンテックユニオンについて お聞かせください

あなたが持っているパンテックユニオンの印象をお聞かせください。

- 労働者側の主張をしっかりとってくれる頼もしい組織だと思います。年数回のセミナーを開いたり「パンテックユニオン」という名前などから親しみを感じます。また、労使交渉だけでなくボランティアなどを行っている点も好感を得ました。
- 労働組合といえば「ストライキ」「賃上げ」「団体交渉」など堅いイメージばかりでしたが、パンテックユニオンは押しつけがましいことは一切なくて自由な雰囲気でそれでいて守る

べき権利や仲間との信頼はきっちり守るというイメージです。

- 堅いイメージの労働組合を想像したので少し拍子抜けしました。セミナーとか参加しづらいのかなと思っていたので今回のような雰囲気なら大丈夫です。
- 特にこれといった印象は持っていません。入社して間もないですし、フレッシュセミナー02が開かれるまでどのような活動を行っているのかわかりませんでした。今後、私もパンテックユニオンの一員になったからには積極的に参加していきたいと思います。
- 労働組合という感じはあまりしませんでした。他には特に印象に残っていませんが委員長のお話で印象が変わりました。従業員がよりやる気を出してがんばれる環境をつくろうと相当の努力をされているのがよくわかりました。労働組合は私たちにとっては重要で、なくてはならない存在であるという印象を持ちました。
- 労働組合といえばやはりメーデーやストライキという言葉がまず思い浮かびました。いろいろな説明を受けてパンテックユニオンの印象はかわったと思います。会社員として生きてゆくためには欠かせない組織ですね。
- パンテックユニオンは「労働組合」なんだという印象が強かったです。まだよくわからないこともあるのでこれから理解していきたいと思います。
- ・ 堅苦しくなく前向きで明るい組織であると思った。
・ 労働者の代表として発言力は強い方なのかどうかよくわからない。
- 特にありません。まだ組合員になって間もないので、これからわかってくるだろうと思います。
- 多くの人々が参加していて、様々な活動を行っていて自分たちの実力をのばし、より充実した生活を送ろうという意識があり、大変良い印象です。

- 入社前に抱いていた「労働組合」のイメージよりもずっと明るく親しみやすい組織だと感じています。と同時にセミナーの内容にしても日頃の情報発信のしかたにしても常にどのような姿が最も組合員に適しているか、妥協することなく考え続ける厳しさをあわせもつ組織という印象があります。
- 大学のサークルっぽい感じで親しみやすい印象を得た。労働組合というイメージがわからない。前日に私服でよいと聞いて驚いた。堅苦しさがなくて良かった。
- フレッシュセミナーに参加する前まではどんなことをしているのかあまりわかりませんでした。私は会社というのは利益を上げることが一番大切なことだと思うけれど地域社会での貢献といった点での活躍も社会から求められていると感じていました。パンテックユニオンはその地域社会に対する貢献といったところで大きな役割を持っている組織であると感じました。
- 組織や活動内容についてこの前の説明でよく理解できましたが実態として、どのような形で動いておられるのかということがイメージできないのが現状です。今後、広報などを通じて理解して行きたいと思っています。
- 社員一人一人のためにがんばっている印象があります。



- フレッシュセミナーを受けたことによって楽しそうにやっているなと思いました。

パンテックユニオンに期待することや、ご意見、ご要望についてお聞かせください。

- 当社は経営者層が高齢なので若い意見をより多く主張していただくことを期待しています。何か役に立てればいいと思います。
- 人間は一人では生きていけないと言うように労働者も一人では何もできない、何もいえない、今、リストラ・倒産の嵐が吹く中で労働組合の存在価値が高まっていると思う。しかし、労働者全体が自分のことしか考えようとしなくなったらもはや労働者は無力となるだろう。労働者はバラバラになってはいけない。お互いに助け合えば必ず光が見えてくると思う。苦しくとも助け合える組織にしてほしいと思う。
- 不況で福利厚生が徐々に削られているようですが状況が良くなったときには早く復活してもらえるようにがんばってください。
- コンセプトの三本柱、三つのホシ（要）、三つの合い言葉を基にもっと充実した組織にしてほしいと思います。
- パンテックからでも事業部長や社長になれるような構造にしてほしい。親会社だから仕方ないかもしれませんが神鋼の社員がパンテックの重役をするというシステムに納得がいきません。国の機関と同じシステムとしか思えません。新しいパンテックをつくってください！
- フレッシュセミナー02を開催して頂いてどうもありがたございます。私は体調管理の不足で何度も席をはずしてしまい、大変ご迷惑をしたと思っています。パンテックユニオンは縁の下の力持ちだと思いました。
- モンゴルとの交流をもっと進めてほしいです
- 会社の組織では表現しにくい”人間性”を發揮できる試み（ボランティア）をこれからもどんどんやっていくべきだと思う。
- 厳しい景況の中、大変だとは思いますがとにかく雇用の確保を優先してほしいです。人員削減は業績の悪さを露呈すると共に社員の志気も下げます。もっと良い会社にするために働く組合員として、とにかく雇用の維持をお願いいたします。
- 今までと同様に、様々な活動をおこなって、それに参加していければ、と思います。
- 社内の他の部署の方や違う年代の方、他の事業所の方との接点が今のところほとんどないのでそういった方たちとの交流を深められる機会をセミナーなどを通して得られたらな、と思っています。
- 久しぶりに同期が集まることができ、そういう場としてもいい会でした。懇親会では会社についてのいろいろな質問ができて良かったです。やはり、入社してみて、配属されて、実際の仕事につくといろいろな疑問困惑不安が出てくると思います。新入社員のそういったメンタルケアがあればと思います。
- 自分自身も会社の経営に参加していると考えられるということは仕事をしていく上で大きな満足感を得るための要素のひとつであると思います。その中でパンテックユニオンの役割は大きく、コンセプトの三本柱のひとつでもある高い参加意識というものを今後も大切に活動していただきたいと思います。
- 相互扶助の精神を第一により多くの方々の理解が得られ、意見が反映されることを期待します。
- もっと、もっと、パンテックがよい会社になるようがんばってほしいです。
- 特にありません。

以上

セミナーに参加した新会員のみなさん (50音順)



天津 夏雄
(本社ブロック)



上田 豊
(本社ブロック)



内田 雄大
(播磨ブロック)



小川 智宏
(播磨ブロック)



加賀城直哉
(研究所ブロック)



香川 博行
(播磨ブロック)



金田 芳典
(本社ブロック)



小久江仁志
(本社ブロック)



竹内 洋平
(大阪・支店ブロック)



富田 武志
(本社ブロック)



能勢 淳平
(本社ブロック)



橋本 健史
(本社ブロック)



原田 知子
(本社ブロック)



細谷 仁人
(本社ブロック)



町田 直
(本社ブロック)



矢野 孝和
(播磨ブロック)